

式辞校長

さわやかな海風が吹き、春の日差しがまぶしい、今日の佳き日に、皆様と共に入学式を挙行できますこと、大きな喜びを感じております。

23名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの元気な返事、生き生きと輝く顔を見て、とても嬉しく思います。これから、皆さんと一緒に、活気あふれる、豊間中学校を創っていきましょう。

私は校長として、豊間中学校をどのような学校にしていくのか、1つだけ目標を立てています。それは、「活気のある学校を創りたい」ということです。みなさん一人一人が活躍できる学校にするために、いろいろと考え、実践していきたいと思ひます。学校の主役はみなさん、一人一人です。

そこで、中学校で生活するうえで、大切なことをみなさんに伝えたいと思ひます。

まず一つめは、「聴くこと」です。学習はもちろんのこと、数々の活動には、必ず、たどり着きたい目標があり、その実現に向けての方法があります。そのことについて、先生や先輩方は、丁寧にみなさんにお話をしてくださいませ。まずは、しっかりと聴くことと、それを受け入れてみる、心と姿勢を養いましょう。

次に、二つめは「自分の考えを持つ」ことです。聴いたことを、自分の言葉にもう一度組み立て直し、じっくりと考えてみましょう。このことを続けることによって、学習は教えられるものではなく、自分から獲得するものだということへ発展していくと思ひます。そして「自分の考え」を、先生方や先輩方、友達に伝えてください。間違ってもだいじょうぶです。「聴いて受け入れる」ことからスタートしているみなさんなので、直しながら、より深い考えにたどり着けると思ひます。

そして、三つめは「チャレンジすること」です。できるようになった、と実感する時、みなさんの顔は輝き、全身に力がみなぎるような感じを経験することができると思ひます。そのために、豊間中学校では、みなさんを励まし、導いていきます。

保護者の皆様、お子様の入学おめでとうござひます。中学校の三年間は、感性が豊かであるとともに、大変不安定な時期でもあります。だからこそ、たくさんのかことを吸収し、心身共に成長著しい時を迎えます。このときに、しっかりと生きる力の基礎を養いたいと思ひます。生徒たちがそれぞれの目標の実現に向けてたくましく歩んでいけるよう、保護者の方々と連携しながら進めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

震災から10年、豊間の復興はまだまだ続きます。その中で、中学生として何をなすべきか、どのような力を身に付けることが必要なのか、考え、実践して参ります。また、コロナウイルス感染拡大防止に向けても、適切な対応を続けることはもちろんのこと、できることを工夫しながら進めていきたいと思ひます。そのためには、学びましょう。「知識は命を救う」です。

結びに、豊間中に学ぶ生徒たちが安心して生活できるよう、豊間中学校スタッフ一同、真摯に支援・指導することをお誓ひし、式辞といたします。

令和3年4月6日

いわき市立豊間中学校長

